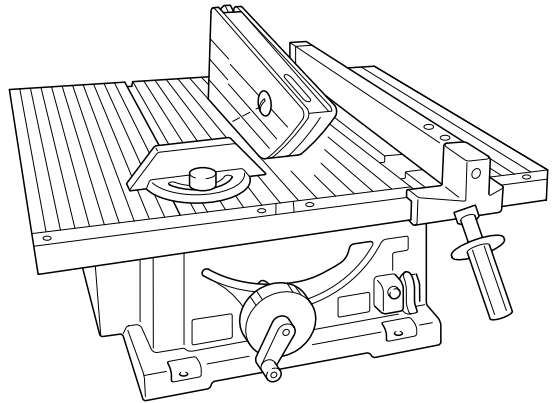


Makita

取扱説明書

255mm マルノコ盤

☐ モデル 2703
(ブレーキ付)



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは **255mm マルノコ盤**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。






主要機能

主要機能	モデル	2703
電動機		直巻整流子電動機
電圧		単相交流 100V
電流		15A
周波数		50-60Hz
消費電力		1,430W
回転数		4,600min ⁻¹ (回転 / 分)
刃物寸法		外径 255mm × 内径 25.4mm
	使用可能ノコ刃	外径 220 ~ 260mm
		ノコ身厚さ 1.8mm 以下 あさり幅 2mm 以上
最大切り込み深さ		90° ……91mm
		45° ……63mm
本機寸法		長さ 560mm × 幅 686mm × 高さ 458mm
質量		18kg

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の **警告** ・ **注意** ・ **注** の意味について


ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・  **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPA001-17

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡してください。

⚠ 警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近付けないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近付けないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警告

9. 保護めがねを使用してください。

- ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10. 防音用保護具を着用してください。

- ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。

11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。

- ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ・ コードを熱、油、角のある所に近付けないでください。

13. 材料を加工する工具では、材料をしっかり固定してください。

- ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 使用しない、または修理する場合。
- ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ・ その他危険が予想される場合。

17. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。

- ・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

- ・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⚠ 警告

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・ 疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

<異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
- ・ コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・ 焦げくさい臭いがする。・ビリビリと電気を感じる。
- ・ スイッチを入れても動かない等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へ点検、修理をお申し付けください。

22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店にお申し付けください。

- ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

マルノコ盤安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、マルノコ盤として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB089-3

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 安全ガイドは絶対に固定したり取り外したりしないでください。また、円滑に動く事を確認してください。
 - ・ ノコ刃が露出したままですと、けがの原因になります。
3. ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内のノコ刃を使用してください。特にこの身の厚さは、割刃の厚さより薄いノコ刃を使用してください。
 - ・ 反ばつなどにより、けがの原因になります。
4. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用して使用しないでください。
 - ・ ノコ刃に巻き込まれ、けがの原因になります。
5. 使用中は、ノコ刃や回転部に手や顔を近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
6. 手がノコ刃に接近する場合は、必ずプッシュスティック（押し棒）など治具を使用してください。
7. 使用中は、材料をしっかり保持し、こじれないように切断してください。
 - ・ 材料がこじられると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。
8. 切断途中で、ノコ刃を回転させたまま材料を戻さないでください。
 - ・ ノコ刃を回転させたまま材料を戻すと強い反発力が生じ、けがの原因になります。材料を戻すときは、スイッチを切り、回転が完全に止まってから戻してください。
9. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音が生じたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. ノコ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずしたりし、けがの原因になります。
2. ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・ ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
3. テーブルの上に、工具や切断片などを放置したまま作業しないでください。
 - ・ テーブルの上のものが飛散し、けがの原因になります。
4. ノコ刃の回転中は、切断片を取り除かないでください。
 - ・ ノコ刃に巻き込まれ、けがの原因になります。
5. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
 - ・ 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
6. 材料を押す手を、ノコ刃の延長線上に置かないでください。
 - ・ けがの原因になります。
7. 平行定規は、確実に固定してください。
 - ・ 固定が不十分な場合、材料がこじれてけがの原因になります。
8. 作業台がわりにテーブルの上に乗らないでください。
 - ・ 思わぬ事故の原因になります。

注

- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

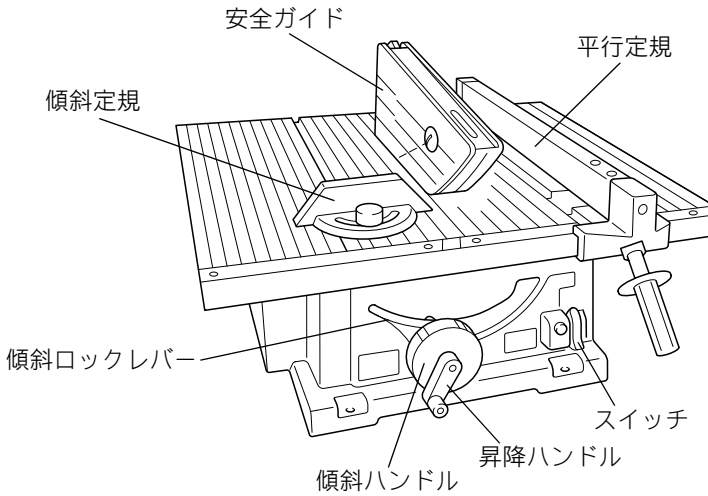
使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と最大長さの目安

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5A	5 ～ 7A	—
0.75mm ²	20m	10m	—

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5A	5 ～ 10A	10 ～ 15A
1.25mm ²	30m	15m	10m
2.0mm ²	50m	30m	20m

- ・ 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

	モデル	
標準付属品		2703
平行定規		●
傾斜定規		●
メガネレンチ 13-22		●
スパナ 19		●
スイッチボタン (予備 2 個)		●
ホルダキャップ用ネジ回し		●
リング 15		●
チップソー		●

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、裏表紙に掲載の当社営業所へお問い合わせください。

・ チップソー

	外径 (mm)	刃数	寸法 (mm)				部品番号
			鋸身厚	刃先厚	内径	リング内径	
一般木工用	255	50	1.8	2.6	25.4	25	A-01862
		72	1.8	2.6	25.4	25	A-10338
	260	72	1.8	2.4	25.4	—	A-06622
		100	1.8	2.4	25.4	—	A-17815
縦挽き用	255	36	1.6	2.3	25.4	—	A-34338
合板専用 (標準付属品と同じ)	255	72	1.8	2.8	25.4	—	A-16134
集成材用	260	100	1.8	2.4	25.4	—	A-31083

- ・ マルノコ盤スタンド (部品番号：192680-7)
- ・ サブテーブルRセット品 (部品番号：192797-6)
- ・ サブテーブルLセット品 (部品番号：192798-4)
- ・ ジョイント 55<集じん機接続用> (部品番号：192799-2)
- ・ ジョイント 55<木工集じん機モデル 410 接続用> (部品番号：192800-3)
- ・ プッシュスティック<押し棒> (部品番号：416772-1)
- ・ ミゾキリカッタ…外径 120mm ×内径 15mm ×幅 2.4 ~ 15.0mm (P.19 参照)
- ・ カッタ用アウトフランジおよびリング・フラットワッシャ
- ・ センタカバー (部品番号：317061-6)

下記のカッタ幅のカッタご使用時に取り付けください。

(7.5、9.0、10.5、12.0、13.5、15.0mm)

使い方

組み立て方

⚠ 警告

組み立ての際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントより抜いてください。

・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。
ノコ刃は、外径 220 ~ 260mm・厚み 1.8mm 以下・あさり幅 2.0mm 以上のものを使用してください。

・ これにあてはまらないノコ刃を使用しますと、けがの原因になります。

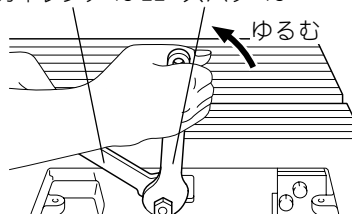
安全ガイドは身体がノコ刃に触れるのを防ぐためのものです。安全ガイドの作動が不完全なまま使用したり、安全ガイドを上げてひもなどで固定したり、取りはずしたりして使用することは大変危険なため、絶対しないでください。

・ 本機は工場出荷時には、ノコ刃と安全ガイドが取りはずしてありますので、次の順序で組み立ててください。

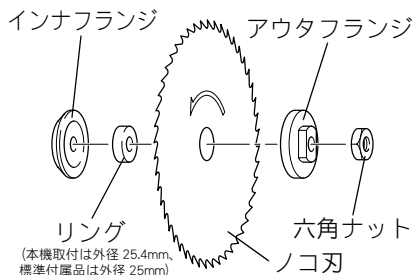
ノコ刃の取り付け方

・ アウタフランジにメガネレンチ 13-22 をはめ柄を手前に倒した後、スパナ 19 で六角ナットをゆるめ、アウタフランジをはずします。

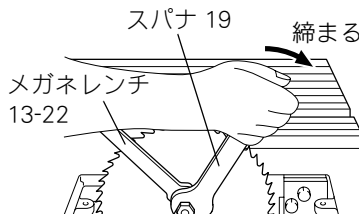
メガネレンチ 13-22 スパナ 19



・ ノコ軸にインナフランジ→リング→ノコ刃→アウタフランジ→六角ナットの順に組み付けます。この時、ノコ刃はテーブルの手前で刃先が下を向くように取り付けてください。六角ナットはくぼみ側が、アウタフランジを向くように取り付けてください。



・ 締め付けは、アウタフランジにメガネレンチ 13-22 をはめ、柄を手前に倒しスパナ 19 で六角ナットを締めつけます。



注

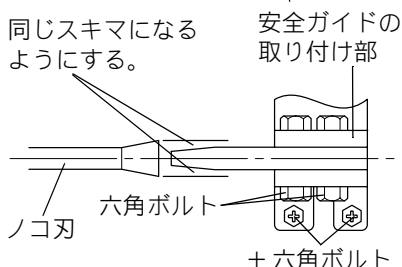
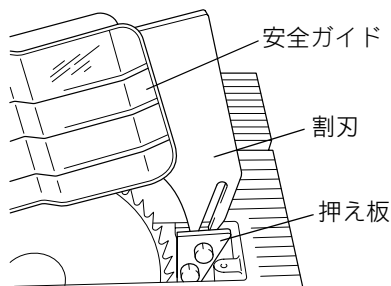
・ 使用されるノコ刃の内径を確認し、内径に合ったリングをご使用ください。

使い方

割刃の取り付け位置はあらかじめ調整して出荷しております。

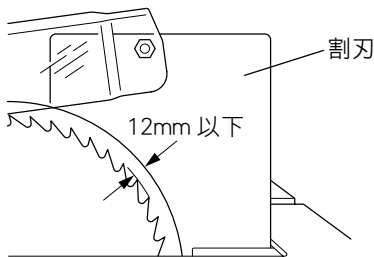
安全ガイドの取り付け方

- 安全ガイドの割刃をテーブル後部（ノコ刃後部）の安全ガイド取り付け部と押え板の間に入れてください。
- 安全ガイド取付部に付いている六角ボルトをメガネレンチ 13-22 で締め付け、ノコ刃と安全ガイドの割刃が、一直線になっているか確認してください。ずれている場合は、安全ガイドの取り付け部を固定している+六角ボルトを緩めて一直線になるように調整してください。



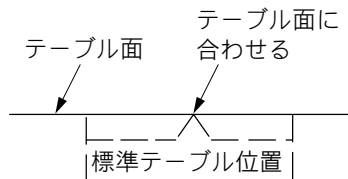
注

- 安全ガイドの取り付け・調整は、昇降ハンドルを右に回し、安全ガイドの取り付け部を最上部（最大切り込み深さ）にしてから、行なってください。
- 割刃はノコ刃と一直線上になるように、正しく調整してください。
- 割刃とノコ刃の刃先の間隔が 12mm 以下になるように調整してください。



- 付属のノコ刃（外径 255mm）の場合は、割刃に貼り付けの「標準テーブル位置」とテーブル面が同じになるようにしてください。

このとき割刃とノコ刃の刃先の間隔は 4～5mm になります。



使い方

- 調整が終わりましたら、六角ボルトおよび+六角ボルトの両方ともしっかりと締めつけてください。

⚠ 注意

六角ボルトをメガネレンチで締めつけるときはレンチの横縞の部分を持って締めて付けてください。

- 長いまま握って締め付けると六角ボルトが損傷するだけでなく、けがの原因になります。
- センターカバーを取り付け、安全ガイドがスムーズに作動することを確認してください。

据え付け場所

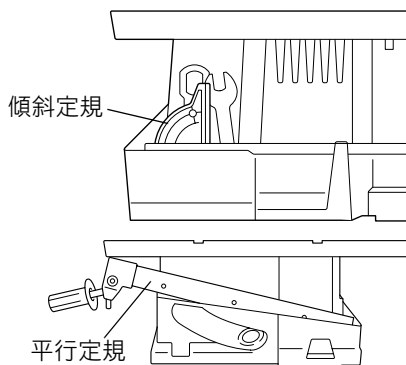
- 明るくて傾斜のない平坦な場所に、すべったり、ずれたりしないよう、作業台や別販売品のマルノコ盤スタンドに固定した状態で使用してください。
- 作業台には、切屑排出用の穴を設けてください。

注

- 切削屑の排出を妨げないようテーブルから壁面まで 30 cm 以上は離してください。

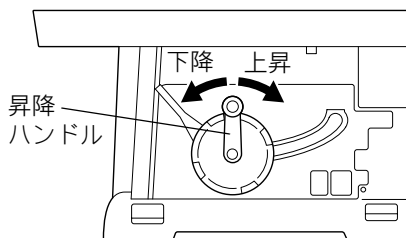
標準付属品の収納場所

- 傾斜定規及びビスパナ類はベースの左側に平行定規はベースの後側に収納してください。



切り込み深さの調整

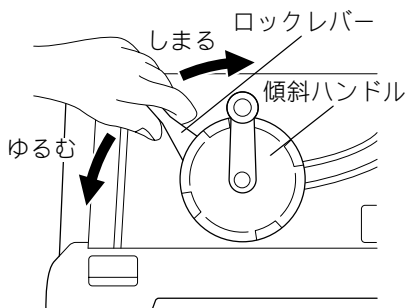
- 切り込み深さの調整は昇降ハンドルを回して行います。昇降ハンドルを右に回すとノコ刃が上昇し、左に回すと下降します。



使い方

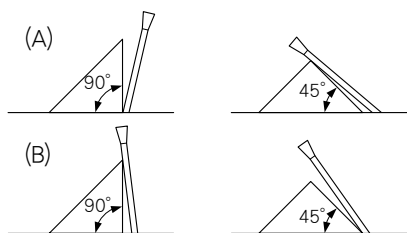
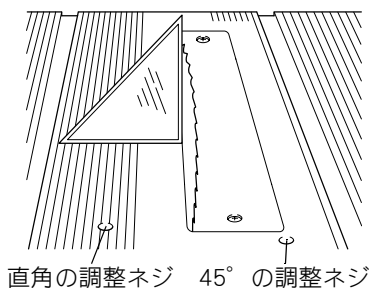
傾斜角度の調整

- 傾斜ロックレバーを下げてゆるめ、傾斜ハンドルを回してお望みの角度 ($0^{\circ} \sim 45^{\circ}$) に合せてください。傾斜角度は角度目盛の矢印が示します。角度の調整が終わりましたら、傾斜ロックレバーを上げて締め付けてください。

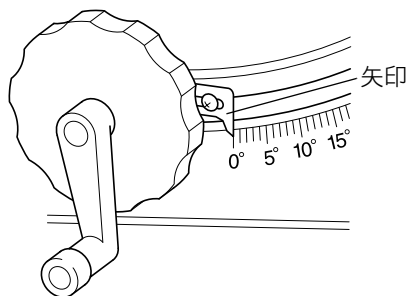


角度ストップの調整

- ノコ刃はテーブル面に対し、直角及び 45° で止まるようにストップで調整してありますが、ストップの位置がずれた場合には次のように調整してください。
- テーブル上面の調整ネジで角度ストップを調整します。傾斜ハンドルを回してストップにあたる位置が (A) のようになる場合は、調整ネジを時計方向に、(B) のようになる場合は、反時計方向に回して角度ストップを調整してください。



- 角度ストップの調整が終わりましたら、直角のストップで止まる位置で矢印の右側が 0° を示すように矢印の位置調整を行なってください。

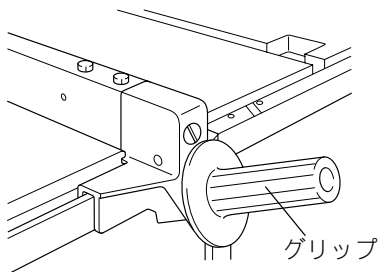


使い方

平行定規の調整

平行定規の取り付け方

- 平行定規のグリップを上げて、テーブルのレールと定規の溝を合わせて取り付けてください。グリップを下げると固定できます。



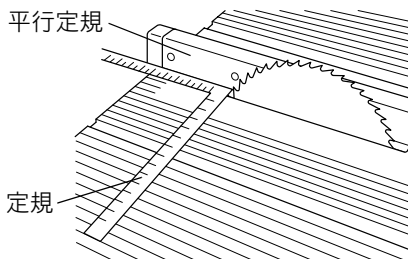
ノコ刃と平行定規の平行

⚠ 注意

平行定規は必ずノコ刃と平行に調整してください。

- 平行でないとノコ刃をこじて、けがの原因になります。

- 平行定規をノコ刃から2～3 mm の位置で固定し、お手持ちの定規でノコ刃からの距離をノコ刃の前後2カ所で測ってください。平行になっていない場合は、以下の手順で調整してください。

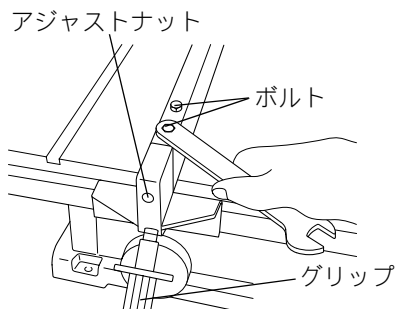


⚠ 注意

六角ボルトを付属のスパナで締め付けるときはスパナの横縞の部分を持って締め付けてください。

- 長いまま握って締め付けると六角ボルトが損傷するだけでなく、けがの原因になります。

- アジャストナットを左に2～3回転させてください。
- 平行定規の2本のボルトを付属のスパナでゆるめてください。
- 平行定規をノコ刃と平行にしてください。
- グリップを下にさげ平行定規を固定してください。
- 2本のボルトを締め付けてください。

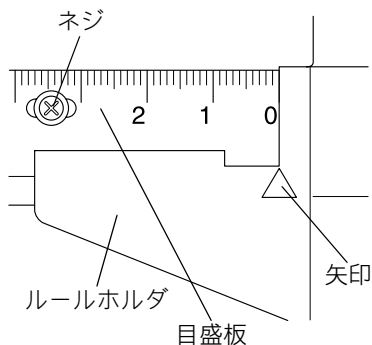


使い方

- ・ グリップを下げた状態でアジャストナットを右に回し平行定規の先端が固定されるようにしてください。このとき右に回しすぎますと、以後の操作時に平行定規の先端が先に固定されるようになり、ノコ刃と平行定規の平行が出にくくなりますので注意してください。

テーブル側の目盛りの位置調整

- ・ 平行定規をノコ刃に密着させて平行定規を固定し、ルールホルダの矢印が目盛板の0を示していることを確認してください。
- ・ 目盛板がずれている時には、目盛板のネジをゆるめ0になるように調整してください。

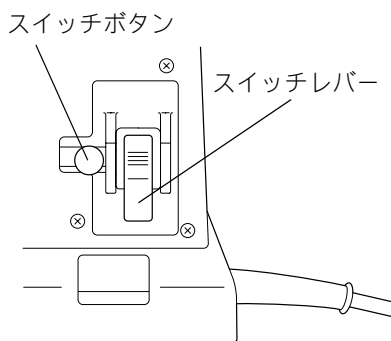


スイッチの操作

⚠ 警告

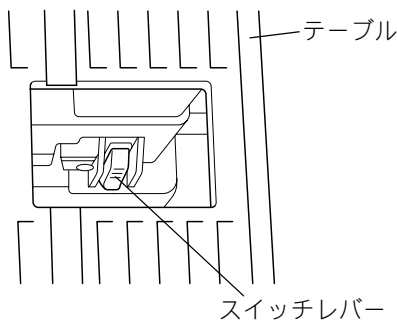
電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動き出し事故の原因になります。
- ・ スイッチレバーを押し下げてその状態でレバーの下方を手前に引けばスイッチが入ります。
- ・ スイッチの下方を押すと切れます。
- ・ 本機を使わないときは、スイッチボタンを取りはずしてください。
- ・ スイッチボタンを取りはずしておけばスイッチは入りません。



使い方

- ・ テーブルには、スイッチが上から見えるように窓があげてあります。



切断作業

⚠ 警告

手がノコ刃に接近する場合は、必ずプッシュスティック（押し棒）など治具を使用してください。

使用中は、材料をしっかり保持し、こじれないように切断してください。

- ・ 材料がこじられると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。

切断途中で、ノコ刃を回転させたまま材料を戻さないでください。

- ・ ノコ刃を回転させたまま材料を戻すと強い反発力が生じ、けがの原因になります。材料を戻すときは、スイッチを切り、回転が完全に止まってから戻してください。

⚠ 注意

ノコ刃の回転中は、切断片を取り除かないでください。

- ・ ノコ刃に巻き込まれ、けがの原因になります。

材料を押す手を、ノコ刃の延長線上に置かないでください。特にノコ刃を傾斜する場合は注意してください。

- ・ けがの原因になります。

平行定規は、確実に固定してください。

- ・ 固定が不十分な場合、材料がこじれてけがの原因になります。

切断中は材料をこじたり、浮かしたりしないでください。

- ・ 材料が反発することがあり、けがの原因になります。

小さな材料、幅の狭い材料を加工するときや、溝切り作業でカッタが材料の下に隠れる場合は、必ず押し具などを使って作業してください。

- ・ 刃物に手などが触れけがの原因になります。

- ・ テーブルの上に材料をのせ、ノコ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れます。材料を両手でしっかり保持し、ノコ刃の回転が完全に上昇し安定したら、そのまま静かに送材し、切り終わるまでこの状態を保ちます。特に硬い材料を切断する場合は、出来るだけゆっくり送材してください。切断面をきれいにするには、一定の速さで真直ぐ材料を進めてください。

使い方

注

- ・ 材料の急激な送りは避けてください。モータに無理がかかり故障の原因となります。
- ・ 安全ガイドは、直角および傾斜切断時に、円滑に作動しノコ刃を覆うことを確認してから作業してください。
- ・ 薄い材料の場合、ノコ刃の切り込み深さを材料の高さより少し大きな切り込み深さになるように調整すると、切り口がきれいに仕上がります。

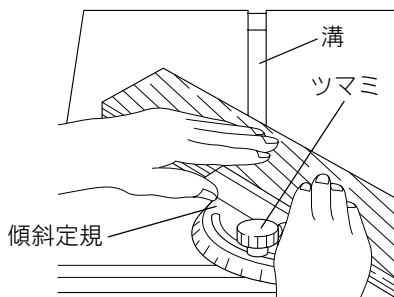
横切り

注

- ・ 横切りをする場合は、平行定規を取りはずしてください。
- ・ 長い材料を横切りする場合は、テーブルの横にお手持ちのテーブルと同じ高さの補助台を設けてください。

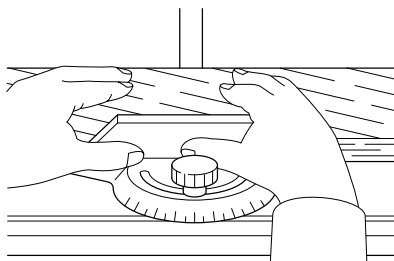
傾斜定規の使用法

- ・ 傾斜定規は比較的幅の広い材料を斜めに切断する時に使用します。
- ・ テーブル上の2本の太い溝に傾斜定規を取り付けます。ツマミをゆるめてお望みの角度 ($0^{\circ} \sim 60^{\circ}$) に合わせ、材料の後面を傾斜定規の面に当て前方へ静かに送り切断します。
- ・ 平行定規で作業しづらい長尺物は傾斜定規を使用されますと便利です。



注

- ・ 切断中、傾斜定規から材料がズレたり、離れない様しっかり保持して作業してください。特に斜めに切断する時は材料が動き易いため、十分注意してください。

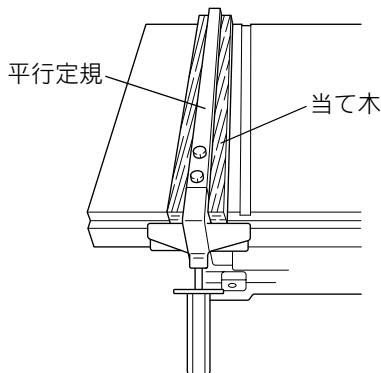
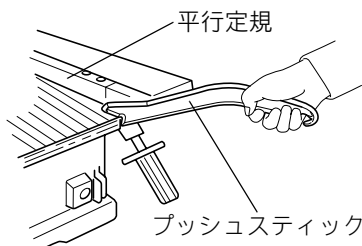


使い方

縦切り

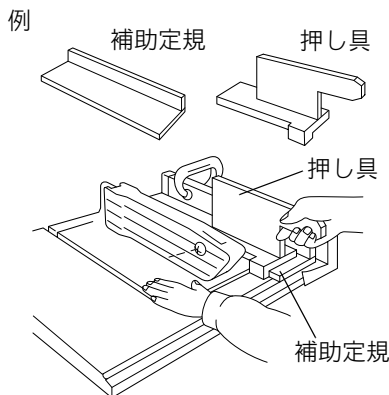
注

- ・ 縦切りをする場合は、傾斜定規を取りはずしてください。
- ・ 長い材料を縦切りする場合は、テーブルの後方にお手持ちのテーブルと同じ高さの補助台を設けてください。
- ・ 材料が安全ガイドに触れない位置でスイッチを入れてください。
- ・ 材料を平行定規に沿わせ、ゆっくり前へ押し切って断してください。手がノコ刃に接近する場合は、必ずプッシュスティック（押し棒）を使用してください。
- ・ ノコ刃と平行定規が接近する場合は平行定規の側面に当て木をしてください。当て木は、木板・プラスチック板を使用し、ボルト・ナットまたは接着剤等ではがれないよう、しっかり取り付けてください。
- ・ ノコ刃と平行定規の間が狭くプッシュスティック（押し棒）が安全ガイドにあたって使えないときは右記に示すような補助治具等を用いて作製してください。



補助治具の使い方

- ・ 補助定規を平行定規にCクランプ（シャコマン）などでしっかり固定してください。
- ・ 材料を補助定規に沿わせ、ゆっくり切断し、手がノコ刃に接近したら押し具を使用してください。



別販売品の使い方

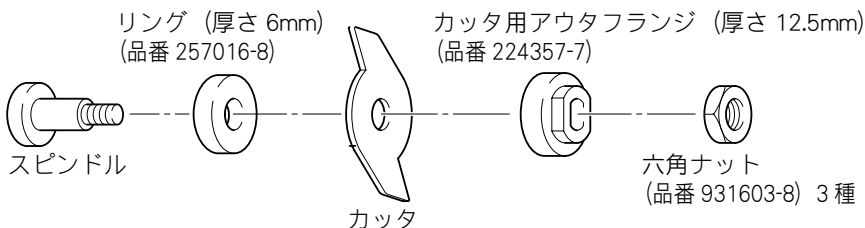
- ミゾキリカッタ…外径 120mm × 内径 15mm × 幅 2.4 ~ 15.0mm
カッタ用アウトフランジおよびフラットワッシャ、リング、六角ナット
- ・ ミゾキリカッタをご使用の際、お求めください。

注

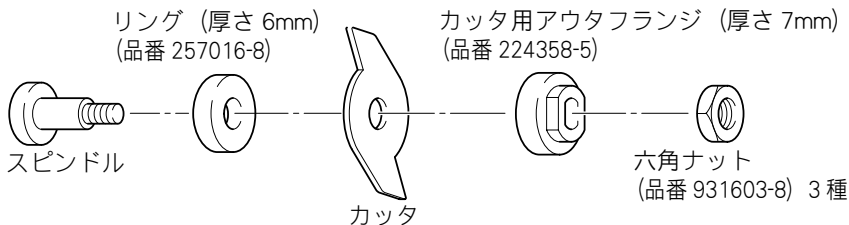
- ・ 安全ガイドを本機からはずして行ないます。刃物に手を触れないよう押し具を使用し、注意して作業してください。
- 10 ページに記載してありますノコ刃の取り付け方と逆の要領でノコ刃を取りはずします。
- 取り付けの際に、ノコ刃取り付け時のインナフランジをリング又はフラットワッシャに取り替えます。次にミゾキリカッタ、アウトフランジ、六角ナットの順に取り付けます。

注

- ・ カッタの幅によって使用するアウトフランジの厚さとリング、フラットワッシャなどが異なりますので注意してください。
- ・ カッタ幅 2.4、3.0、3.9、4.5、5.5、6.0mm の場合

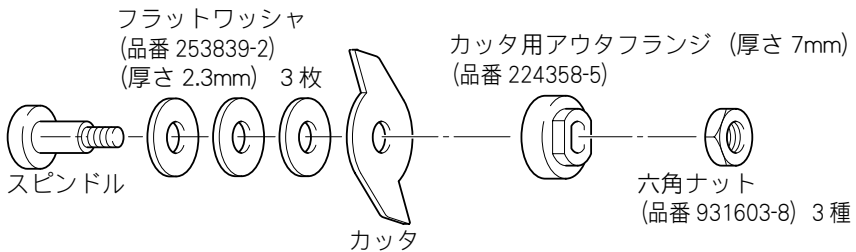


- ・ カッタ幅 7.5、9.0、10.5mm の場合

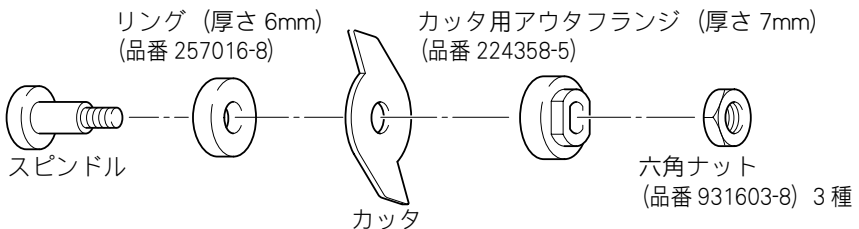


別販売品の使い方

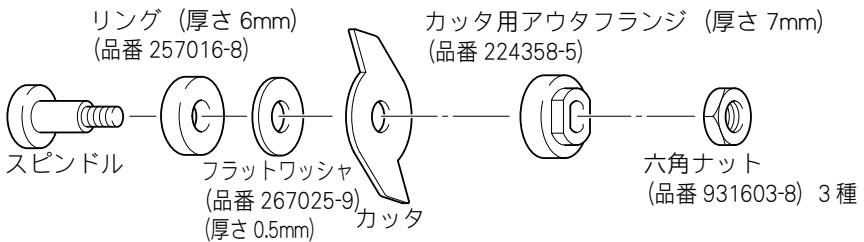
・ カッタ幅 12.0mm の場合 (台金幅 9.0mm)



・ カッタ幅 13.5mm の場合 (台金幅 11.5mm)



・ カッタ幅 15.0mm の場合 (台金幅 11.5mm)

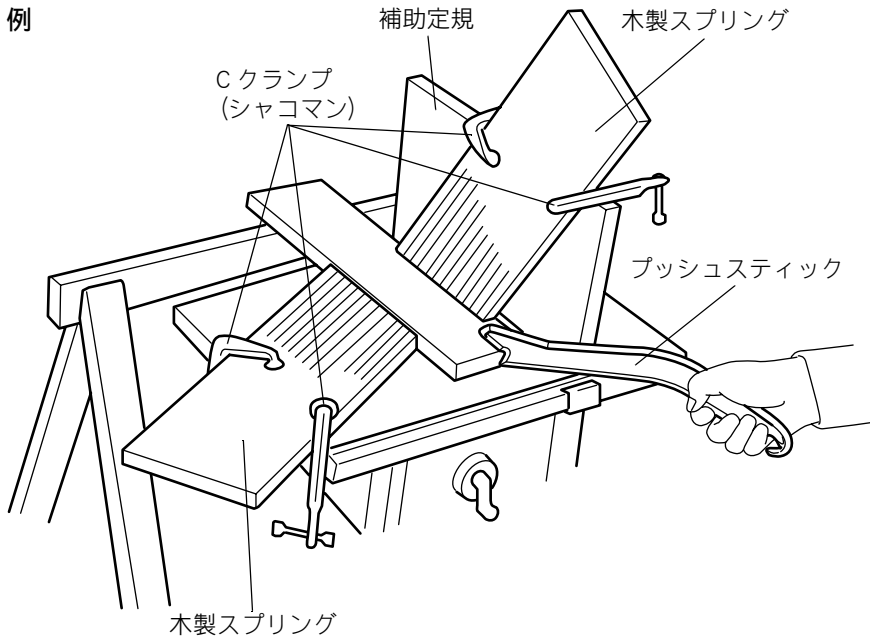


別販売品の使い方

注

- ・ 六角ナットはしっかり締め付けないと、ミゾキリカッタがカラ回りしますので注意してください。
- ・ ミゾキリ作業は、加工中カッタが材料の中に隠れていますので、カッタに手が近づかないよう図に示すような補助治具等を作製して作業してください。
- ・ カッタを傾斜して作業するとテーブルにあたりますので絶対しないでください。
- ・ 木材以外の加工には使用しないでください。

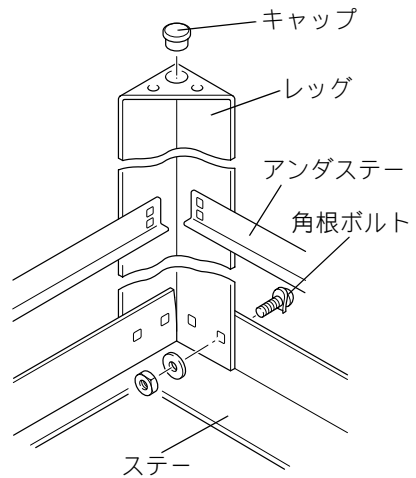
例



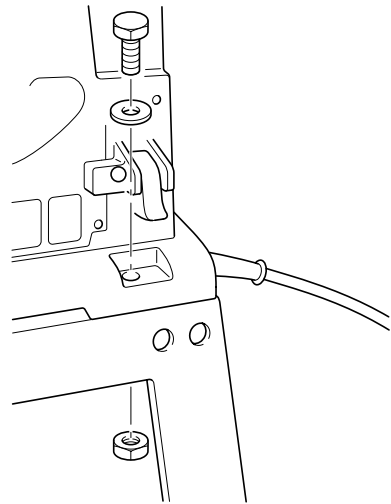
別販売品の使い方

マルノコスタンド

- ・ 組み立て方はステーを下に並べてレッグを逆さに立て、角穴を合わせ角根ボルトとナットで確実に締め付けた後、レッグの先端にキャップをはめます。



- ・ 組み立てたスタンドの上に本機を載せ、4本の六角ボルト、平座金、六角ナットで固定します。



注

- ・ マルノコ盤スタンドは専用スタンドですので、本機以外のものを取り付けたり、載せたりしないでください。

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

各部取り付けネジ

- ・ 各 부품の固定部にゆるみやガタがないか定期的に点検してください。

安全ガイドの作動点検

- ・ 安全ガイドがスムーズに作動するか確認してください。

作業後の保管

- ・ 作業後は必ず電源コンセントより電源プラグを抜いて、お子様の手の届かない所へ保管してください。また、長期間使用しない場合は、ほこりや錆の付かないようにして保管してください。

清掃

- ・ 時々、付着チップの除去等清掃してください。特に安全ガイドや内部の作動部は入念に行なってください。

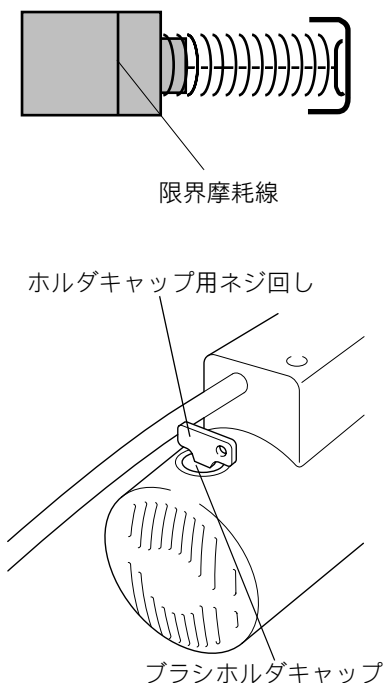
注油

- ・ 本機を最良の状態で作業していただくため、または本機を長持ちさせるため、時々、摺動部や回転部にグリスを塗布してください。
- ・ 昇降ネジの外周・フレーム回転部
- ・ モータ部の昇降ガイド軸
- ・ 昇降用歯車部・傾斜用歯車部
- ・ 安全ガイドの回転軸
- ・ 傾斜固定用鉄板の長孔窓部
- ・ 平行定規のカム軸

保守・点検について

カーボンブラシの交換

- ・ カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。
- ・ 付属のホルダキャップ用ネジ回してブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- ・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
- ・ カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替える場合は、必ず両方とも同時に行なってください。



注

- ・ 新品と交換の際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。指定以外のカーボンブラシを使用するとブレーキがかからないことがあります。

本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か石けん水をつけた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等は変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさないで、必ずお買い上げ販売店または裏面掲載の当社営業所にお申し付けください。

全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	(011) (783) 8141	東京支店	(03) (3816) 1141	大阪支店	(06) (6351) 8771
札幌営業所	(011) (783) 8141	東京営業所	(03) (3816) 1141	大阪営業所	(06) (6351) 8771
旭川営業所	(0166) (29) 0960	中野営業所	(03) (3337) 8431	東大阪営業所	(06) (6746) 7531
釧路営業所	(0154) (37) 4849	足立営業所	(03) (3899) 5855	関西物流センター	(0725) (46) 6715
函館営業所	(0138) (49) 9273	大田営業所	(03) (3763) 7553	南大阪営業所	(0725) (46) 6611
苫小牧営業所	(0144) (68) 2100	江戸川営業所	(03) (3653) 5171	奈良営業所	(0742) (61) 6484
帯広営業所	(0155) (36) 3833	多摩営業所	(042) (384) 8411	橿原営業所	(0744) (22) 2061
北見営業所	(0157) (26) 9011	立川営業所	(042) (542) 1201	和歌山営業所	(073) (471) 4585
仙台支店	(022) (284) 3201	横浜支店	(045) (472) 4711	田辺営業所	(0739) (25) 1027
仙台営業所	(022) (284) 3201	横浜営業所	(045) (472) 4711	沖繩営業所	(098) (874) 1222
古川営業所	(0229) (24) 0698	川崎営業所	(044) (811) 6167	兵庫支店	(0794) (82) 7411
青森営業所	(017) (764) 4466	平塚営業所	(0463) (54) 3914	三木営業所	(0794) (82) 7411
八戸営業所	(0178) (43) 3321	相模原営業所	(042) (757) 2501	尼崎営業所	(06) (6437) 3660
盛岡営業所	(019) (63) 6221	湘南営業所	(0466) (87) 4001	神戸営業所	(078) (672) 6121
水沢営業所	(0197) (22) 5101	静岡支店	(054) (281) 1555	姫路営業所	(079) (281) 0204
郡山営業所	(024) (932) 0218	静岡営業所	(054) (281) 1555	広島支店	(082) (293) 2231
いわき営業所	(0246) (23) 6061	沼津営業所	(055) (923) 7811	広島営業所	(082) (293) 2231
福島営業所	(0243) (22) 1204	浜松営業所	(053) (464) 3016	福山営業所	(084) (923) 0960
新潟支店	(025) (247) 5356	甲府営業所	(055) (276) 7212	三原営業所	(0848) (64) 4850
新潟営業所	(025) (247) 5356	金沢支店	(076) (249) 5701	岡山営業所	(086) (243) 4723
長岡営業所	(0258) (30) 5530	金沢営業所	(076) (249) 5701	宇部営業所	(0836) (31) 4345
山形営業所	(023) (643) 5225	七尾営業所	(0767) (52) 3533	徳山営業所	(0834) (21) 5583
酒田営業所	(0234) (26) 3551	富山営業所	(076) (451) 6260	鳥取営業所	(0857) (28) 5761
秋田営業所	(018) (863) 5205	高岡営業所	(0766) (21) 3177	松江営業所	(0852) (21) 0538
宇都宮支店	(028) (634) 5295	福井営業所	(0776) (35) 1911	高松支店	(087) (867) 6411
宇都宮営業所	(028) (634) 5295	岐阜支店	(058) (274) 1315	高松営業所	(087) (867) 6411
小山営業所	(0285) (25) 5559	岐阜営業所	(058) (274) 1315	徳島営業所	(088) (626) 0555
水戸営業所	(029) (248) 2033	多治見営業所	(0572) (22) 4921	松山営業所	(089) (903) 7666
土浦営業所	(029) (821) 6086	松本営業所	(0263) (85) 4751	宇和島営業所	(0895) (22) 3785
関東物流センター	(048) (771) 3451	長野営業所	(026) (225) 1022	高知営業所	(088) (884) 7811
埼玉支店	(048) (777) 4801	上田営業所	(0268) (22) 6362	福岡支店	(092) (411) 9201
さいたま営業所	(048) (777) 4801	飯田営業所	(0265) (24) 1636	福岡営業所	(092) (411) 9201
川越営業所	(049) (222) 2512	名古屋支店	(052) (419) 0561	福岡営業所	(093) (551) 3481
熊谷営業所	(048) (521) 4647	名古屋営業所	(052) (419) 0561	飯塚営業所	(0948) (26) 3361
越谷営業所	(048) (976) 6155	一宮営業所	(0586) (75) 5382	久留米営業所	(0942) (43) 2441
前橋営業所	(027) (232) 5575	東名古屋営業所	(0561) (73) 0072	佐賀営業所	(0952) (30) 6603
高崎営業所	(027) (365) 3688	知多営業所	(0569) (48) 8470	長崎営業所	(095) (882) 6112
岡毛営業所	(0276) (46) 7661	岡崎営業所	(0564) (22) 2443	佐世保営業所	(0956) (33) 4991
千葉支店	(043) (231) 5521	豊橋営業所	(0532) (46) 9117	熊本支店	(096) (389) 4300
千葉営業所	(043) (231) 5521	四日市営業所	(059) (351) 0727	熊本営業所	(096) (389) 4300
市川営業所	(047) (328) 1554	津営業所	(059) (232) 2446	八代営業所	(0965) (43) 1000
成田営業所	(0476) (73) 8101	伊勢営業所	(0596) (36) 3210	大分営業所	(097) (567) 3320
木更津営業所	(0438) (23) 2908	京都支店	(075) (621) 1135	宮崎営業所	(0985) (26) 1236
柏営業所	(04) (7175) 0411	京都営業所	(075) (621) 1135	鹿児島営業所	(099) (267) 5234
		福知山営業所	(0773) (23) 7733	沖繩営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
		大津営業所	(077) (545) 5594		
		彦根営業所	(0749) (22) 6184		

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

881817F8